

令和6年度 第1回横浜市動物園等指定管理者選定評価委員会 会議録	
日時	令和6年5月24日(金) 15:45～
開催場所	金沢動物園 会議室
出席者	(委員) 小宮輝之委員、佐渡友陽一委員、関清美委員、間曾さちこ委員
開催形態	公開
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1 横浜市動物園等指定管理者選定評価委員会の概要及び委員長の選出 2 会議の公開について 3 事業評価の実施方法について 4 令和5年度第5回横浜市動物園等指定管理者選定評価委員会会議録案について
<p>1 横浜市動物園等指定管理者選定評価委員会の概要及び委員長の選出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員長 小宮輝之委員 ・委員長代理 佐渡友陽一委員 <p>2 会議の公開について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度・7年度の本委員会は非公開で実施 ・議事録は公開とする <p>3 事業評価の実施方法について(説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今の指定管理期間中は現在の実施方法で行うことに異論はない。次の指定管理期間については、今後、大きな見直しをしていくことになるのか。 →来年度は選定をする年となるので、次期指定管理期間の事業評価のシステムや仕様書の内容などについて、今後議論していくことになる。 ・次の事業評価のシステムを考えていくのであれば、次期指定管理者の選定を行うために仕様書などの見直しを行うこのタイミングしか、殆どないということになる。現在の「数字で評価する」というシステムを事務局としては今後も維持するつもりか。 →事業評価は継続するが、モニタリングとの関係性や頻度も踏まえ、適切な方法を今後考えていく。仕様書も必要に応じて見直していきたい。 ・数値だけが大事ではなく、評価を行うことでブラッシュアップをしていくことが目的である。PDCAサイクルがうまく回って、動物園が今後10年間で、きちんと時代をキャッチアップ、あるいは先取りできるような仕組みになるものにしてほしい。横浜市立動物園の指定管理にとって、そのようなシステム設計を作る10年に1度のチャンスだ。 →今後、委員の皆様には選定にかかる事務を進めていく中でご相談をさせていただきたい。 <p>4 令和5年度第5回横浜市動物園等指定管理者選定評価委員会会議録案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・承認 	

視察の感想（野毛山動物園・金沢動物園）

- ・野毛山動物園の爬虫類館は繁殖や飼育の実績がある施設だが、担当者の技術と熱意により作った実績で、施設自体は課題がある。ぜひ再整備の中で、しっかりとその実績に見合った整備をしてもらいたい。
- ・爬虫類の飼育はとても独特な技術が必要で、技術継承が非常に重要である。再整備の中でどうしていくのか、10年前と変わらないような状態ではいけない。
- ・金沢動物園では、自動給餌機などで給餌を来園者に見せる工夫をされており、あのような工夫をこれからも続けてほしい。
- ・野毛山動物園が今後どう変わるかに非常に興味がある。ミヤコタナゴの人工繁殖もしっかり続けてほしい。
- ・金沢動物園も保全センター的な成果が出始めている。きちんと保全に結び付いていて意義のある方向に向かっている。
- ・野毛山動物園は、ひだまり広場などの小さなリニューアルの成果が出ている。コアリクイの展示場も手作りもしながらレベルアップしてきている。今回のリニューアルで大きく花開けばよいと思う。
- ・金沢動物園も、現場の努力が蓄積されている。ただ、その蓄積しているもののアピールがうまくいっていない印象があるので、上手にアピールできるよう広報・PR・プロモーションに期待したい。